

1.14 [日曜日]

## 「ふみの会」による読み聞かせと性のお話会

旧佐那河内郵便局のポストガーデンで、絵本の読み聞かせや紙芝居を行なっている「ふみの会」による絵本の読み聞かせがありました。未就学児から小学校低学年の子どもたちが村内外から15人ほど集まり、紙芝居や読み聞かせにじっと聞き入っていました。その後、体を動かしたくなった子どもたちは、紙飛行機や紙鉄砲の作り方も教わり、飛ばしたり鳴らしたり、楽しく遊びました。

この日は、同時に佐那河内村人権擁護委員の松尾亜佳理さんによる「性のお話会」も行われました。まずは、保護者のみなさんへ、性被害の実態や性被害に遭わないために普段からできることのお話がありました。次に、保護者と子どもたち一緒に、絵本や動画を交えながら「自分の体は自分だけのもの、水着で隠れる場所は、人に見られてはいけない場所」という話を聞きました。子どもが自分の身を守るように、誰かに連れて行かれそうな時、大きな声で「やめて!」と言う練習もしました。

遊びあり、学びありの、充実した1日でした。



1.21 [日曜日]

## 土砂災害危険個所の分布をテーマに学術講演会開催

徳島大学大学院准教授の西山賢一さんをお招きし、「佐那河内村の地形・地質に基づく土砂災害危険個所の分布」をテーマにご講演いただきました。その一部をご紹介します。

- 村内の地形や地質の特徴から、村内全域の山地域は、急傾斜地崩壊・土石流・地すべりの3種の土砂災害に警戒が必要であり、園瀬川・嵯峨川沿いの低地は洪水災害や地震時の液状化災害にも注意が必要。
- インターネットで「徳島県水防・砂防情報マップ」と検索すると土砂災害リスクマップを見ることができる。自宅周辺や通勤通学通路、避難所、避難ルートが安全かどうか、あらかじめ確認しておくことが大切。
- 過去の災害伝承も災害対策に重要。口伝で伝わっている災害伝承があれば、村役場まで知らせてほしい。



44人の参加者は熱心に聴き入り、多くの質問が飛び交いました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

なお、講演会の資料は村ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



佐那河内村HP記事